



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

◎様々な活動をESDの視点から見直しつなげるとともに、ESDの視点で各教科のカリキュラムをチェックし、アクティブラーニングを取り入れESDを意識した授業改善を行った。

#### 全校

『第一回人権特設授業』(7月): テーマ「今を生きる」。車椅子バスケットボール選手による講演と車椅子体験。福祉についてと前向きに生きることについて学ぶことができた。

『わくわく交流会』(10月): 地域住民が講師となり環境・防災・国際交流等についての学びや体験を行った。

『文化学習発表会』(10月): 演技や展示を通しコミュニケーション力・表現力・共感力の育成を図ることができた。

『第二回人権特設授業』(12月): テーマ「地球環境と宇宙開発」。JAXAの講師を迎え、環境や人権について考えを深めた。事後学習として「30年後の世界や地球を想像して自分にできることを考えよう」をテーマにワールドカフェを実施し、未来の様々な事象を予測して自分事とすることができた。

#### 1年生

『地域探検学習』(6月): 事前学習として「青葉区郷土史の会」代表の方から地域の歴史と未来に向けての講義を聞き、地域の歴史と課題についてグループで考察した。地域探検当日は各グループのテーマに沿ってフィールドワークを行い、事後学習として新たな発見と課題解決に向けての報告会を実施した。

『社会科ESD授業』(11月): 『南アメリカ州』の単元の第五時として『「地球にやさしい」環境破壊?地球にも我々にも優しい世界について考える』をテーマに大学教授と学生とともに社会科教員が授業を進めた。

『福祉体験学習』(12月): 事前学習として学んだ「福祉とは何か?働く意義とは何か?社会や人の役に立つにはどうすればよいのか?」の実践として、地域の保育園・高齢者施設・ケアプラザ等の事業所での体験学習を行った。

#### 2年生

『自然教室』(6月): 長野県での森林体験と農業体験を通じ、人間と自然環境とのつながりや関わりについて認識を深めた。

『福祉体験学習』(11月): 事前学習として学んだ「福祉とは何か?働く意義とは何か?社会や人の役に立つにはどうすればよいのか?」の実践として、地域の保育園・高齢者施設・ケアプラザ等の事業所での体験学習を行った。

『プロダンサーによるダンス授業』(11月): 3回にわたり体育授業で実施。積極性・協力性・計画性の伸長を図ることができた。

『青年海外協力隊員による授業』(11月): ベトナムでの日本語教師経験のある隊員による国際理解・国際貢献についての授業を行った。

『社会科ESD授業』(2月): 『身近な地域の調査』の単元で過去と現在の地形図を比較しながら、地域の変化や課題について多面的に考察するとともに、起こり

得る災害の可能性と防災について意見交換を行った。

### 3年生

『課題探究学習』(6月): 1年次からの平和学習の集大成として広島での平和集会を開催するとともに、京都で日本の伝統・文化・歴史について実地学習を行った。

『企業による出前授業』(2月): ①「科学技術と人の幸せ」をテーマに、答えのない課題について他者の意見や自分とは異なる考え方を受け入れながら判断する訓練を行った。②「先端材料と地球環境問題とのかかわり」をテーマに最新の素材や科学技術が地球環境の保全に役立つことを実験を通し気づくことができた。

### 生徒会・委員会・部活動・有志

『熊本地震救援募金活動』(4月): 生徒会と福祉委員会による自主的な募金活動と被災地への送金を行った。

『地域祭礼でのボランティア』(8・10月): 吹奏楽部によるボランティア演奏や有志による祭礼でのボランティアや出店を行った。

『地域防災訓練への参画』(11月): 生徒会本部・保健委員会が防災訓練に参画、災害時に中学生が果たすことができる役割について考え行動した。

『鶴見川クリーンアップ作戦』(11月): 有志と複数の部活動が地域を流れる河川流域の環境美化活動に参加し、環境と生態系を保護することの大切さを学んだ。

『青葉区地域保健計画意見交換会』(11月): 区福祉保健課・社会福祉協議会職員と福祉委員会が「地域福祉保健計画中学生版」作成に向けて意見交換を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（休日・長期休業中）